

## 第 1 回 葛飾区地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時	令和 7 年 2 月 3 日 (月) 14:00～16:00
会 場	葛飾区医師会館 講堂
出席者	別紙「第 1 回葛飾区地域公共交通活性化協議会 出席者名簿」のとおり
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者	5 人
配付資料	<p>資料 1 委員名簿</p> <p>資料 2 葛飾区地域公共交通活性化協議会設置要綱</p> <p>資料 3 葛飾区地域公共交通活性化協議会の会議の公開に関する取扱要領</p> <p>資料 4 葛飾区地域公共交通活性化協議会について</p> <p>資料 5 葛飾区地域公共交通計画の策定について</p> <p>資料 6 西亀有エリアにおける新たな交通手段の検討状況について</p> <p>資料 7 新規バス路線（新金 02 系統）の運行開始について</p> <p>参考資料 区内地域交通の運行状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">葛飾区内バス路線図</p> <p style="padding-left: 2em;">葛飾区公共交通網整備方針（概要版）</p> <p style="padding-left: 2em;">区民アンケート調査及びバス利用者アンケート調査 速報集計（概要版）</p>
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱・紹介</p> <p>3 地域公共交通活性化協議会について</p> <p>4 報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 葛飾区地域公共交通計画の策定について</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 西亀有エリアにおける新たな交通手段の検討状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">(3) 新規バス路線（新金 02 系統）の運行開始について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>

## 議事進行及び発言概要

### 次第 1 開会

会長より挨拶、傍聴の決定。

### 次第 2 委員委嘱・紹介

資料 1 「葛飾区地域公共交通会議委員名簿」によって代える。

副会長の決定

### 次第 3 地域公共交通活性化協議会について

### 次第 4 報告事項（1）

#### 資料 5 葛飾区地域公共交通計画の策定について

##### <質疑応答>

- 副会長 地域公共交通の策定に際して、他の自治体では交通空白地域と言われるところをある程度把握して、そこを埋めていくような施策を考えている。葛飾区では交通空白地域はないのかもしれないが、検討・調査していることがあれば教えていただきたい。
- 事務局 鉄道駅から〇m、本数が多いバス停から〇mのような、物理的な距離での（公共交通にアクセスしづらい）地域の抽出は行っている。ただ、現行の公共交通網整備方針を検討した際には、抽出地域とそれ以外の地域とで区民の意見等に明確な違いはなく、交通不便地域としては掲載していない。一方で、時間の経過とともに、区民から寄せられる声は様々になっているため、今後調査をしなければならないと認識している。
- 会長 区内は平坦な道であることから自転車利用率が非常に高いため、シェアサイクル事業も公共交通網整備方針の中で検討していくものに含まれている。バス路線の運休がある中でも、そういう点では恵まれていると考える。

公共交通網整備方針の評価は概ね進んでいることがわかるが、京成高砂駅前広場の整備と舟運の活用検討の施策がCと評価をされている。この評価の背景と今後の見込みについて教えていただきたい。
- 事務局 京成高砂駅前広場の整備については、連続立体交差事業が令和 4 年 4 月に新規着工準備の採択を受け、具体的な整備に向けて取り組みが始まったばかりのため、進捗をCとしている。

舟運については、水辺空間の活用や観光を含めた活性化等、総合的に検討するべきと考えるが、なかなか現実的に着手しきれていないため、Cとしている。
- 会長 了解した。舟運に関しては、海外での活用事例もあるため、前向きに検討いただければと思う。

#### 次第4 報告事項(2)

##### 資料6 西亀有エリアにおける新たな交通手段の検討状況について

###### <質疑応答>

- 会長 分科会で検討した案を示されたが、この場での議論・意見を踏まえてバージョンアップできる部分があれば、次回の活性化協議会で報告し、最終的な報告をしてもらうことになる。
- 委員 大変良いサービスと捉えたが、車いすの方が利用する場合には、車いすのまま乗り込めるのか、それともいったん車いすから降りて座席に移動するのか。
- 事務局 通常のタクシー営業の中でこのサービスを提供することを考えている。UDタクシーのような車いすに乗ったまま利用できるタクシーもあり、ドライバーも研修を受けていると聞いているため、特に問題はないと考えている。
- 委員 このような区の新しい事業へのチャレンジについては理解をしているが、当該エリアに営業路線をもつバス事業者として、利用者が新しいサービスに流れると既存路線の存続に影響が出る可能性がある。実証期間中、都度十分な議論と対処をお願いしたい。
- 事務局 分科会でもご指摘のあった事項であるため、「周辺路線バスへの影響が小さいこと」を評価指標としている。また、申込書に簡単なアンケートをつけることで、利用状況も把握をしていきたいと考えている。利用状況のモニタリング・評価に際しては、調整をさせていただきたい。
- 会長 交通の実証運行を行う際には、事業採算性や公的負担の大きさが指標になることが多い。これらについてはどのように考えているか。
- 事務局 採算性は、かかった費用に対して利用者からの運賃がどの程度かを表す指標である。今回提案している交通手段では、利用者が増えるにしたがって区の負担が増えていくものなので、採算性を評価指標として設定していない。ただ、利用者が増えると、車両を借り上げた方が公費負担の大きさが逆転する可能性もあるため、そうなった場合には再度検討をするようなことも分科会の中では議論としてきたところである。
- 会長 公的負担の大きさによっては、事業継続ができなくなることも考えられるため、評価指標とするかどうかは検討していただきたい。
- 委員 運賃を500円とした根拠はなにか。また車いすを乗せる場合、車いすを乗せ始めたときからメーターがスタートするのか、あるいは車が出発したときからメーターがスタートするのか、わかる範囲で教えていただきたい。
- 事務局 運賃500円の根拠は、実際のオペレーションでの分かりやすさから設定している。メーターの開始のタイミングなど、細かな運用は今後事業者と相談しながら、わかりやすい形を目指していきたい。
- 委員 非常に良い取組であると捉えたが、この事業を利用してもらうために

は、十分に周知することが必要だと思う。どのような周知を考えているか。また、1回目の利用のハードルが非常に高く、そこをクリアするためには1回目は無料とするなどなにか検討していることはあるか。

- 委員 住民への周知については、実証開始前に広報かつしかでの周知や自治町会での回覧、住民説明会などを考えている。初回の利用については、まずは知ってもらうことが大事と考えていて、無料にするかどうかまでは検討に至っていない。
- 委員 東立石地区ではグリスロ事業を始めており、今回デマンド型の実証を始めるということで、他のエリアの方も注目をしていると思う。区の整備方針として、地域の自主的な取組の支援がある中で、他のエリアでもやってほしいという意見が出てくる可能性もあるが、面的な広がりについてはどのように考えているか。
- 事務局 今回の実証が他のエリアでもうまくいくかどうかは分からない。その地域にあったやり方を地域で検討しながら利便性を高めていきたいが、既存のバス路線との協調が前提であると考えている。
- 会長 いろいろな選択肢があるので、地域の事情に応じて選択をしていくのがよいと考える。

今回は非乗合いでの提案であった。最初はこの形での実証運行であることは承知したが、ゆくゆくは公共的な観点からも乗合の形での検討もしてほしいと思っている。

ここまでの意見等を踏まえて、最終的な案としてブラッシュアップし、7月の活性化協議会で最終案を示されたい。

#### 次第4 報告事項(3)

##### 資料7 新規バス路線(新金02系統)の運行開始について

<質疑応答>

- 会長 新規路線は3月16日に運行開始ということだが、これに伴う他路線の再編についても同日か。
- 委員 そうである。
- 会長 住民への周知等、事前にしっかりと対応していただきたい。

#### 次第5 その他

- 副会長 積極的に施策を進めている印象で、新たな交通手段の導入も興味深いものであった。すでに話にあがっていたが、新たな事業の開始には周知が重要であるので、知らなかったという方が出ないようお願いしたい。  
評価指標は、良し悪しにとどまらず、改善のきっかけとして活用するのが良い。柔軟に対応されたい。  
新たな交通手段の実証運行に関しては、利用者が増えた場合も含め利用状況によって導入すべき交通手段を検討するのが良いと考える。
- 会長 次回は地域公共交通計画の策定が主な議題になる。これまでの区の取

組を社会情勢や公共交通を取り巻く環境も踏まえながら見直すことや、新たな技術の活用といったことも含め議論していきたい。

区民や来訪者に、積極的に公共交通機関を利用し、出歩いてもらうことが最も重要である。

## 次第6 閉会

- 事務局 本年3月末日が、現委員の任期満了日である。来年度改めて委員委嘱  
手続等をお願いする予定である。

本日の配付資料は、葛飾区公式ホームページにこれ以降掲載予定である。